



これが本物の英語を私たちの子どもたちに学んでもらう方法です。

USESCHOOLは、本物のアメリカのカリキュラム・システムとアメリカの学校文化を提供します！

このようにして、子ども達（生徒様）は、詰め込み型教育から離れることができ、  
英語をもう一つの言語として体験し、  
アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を継続することができます。

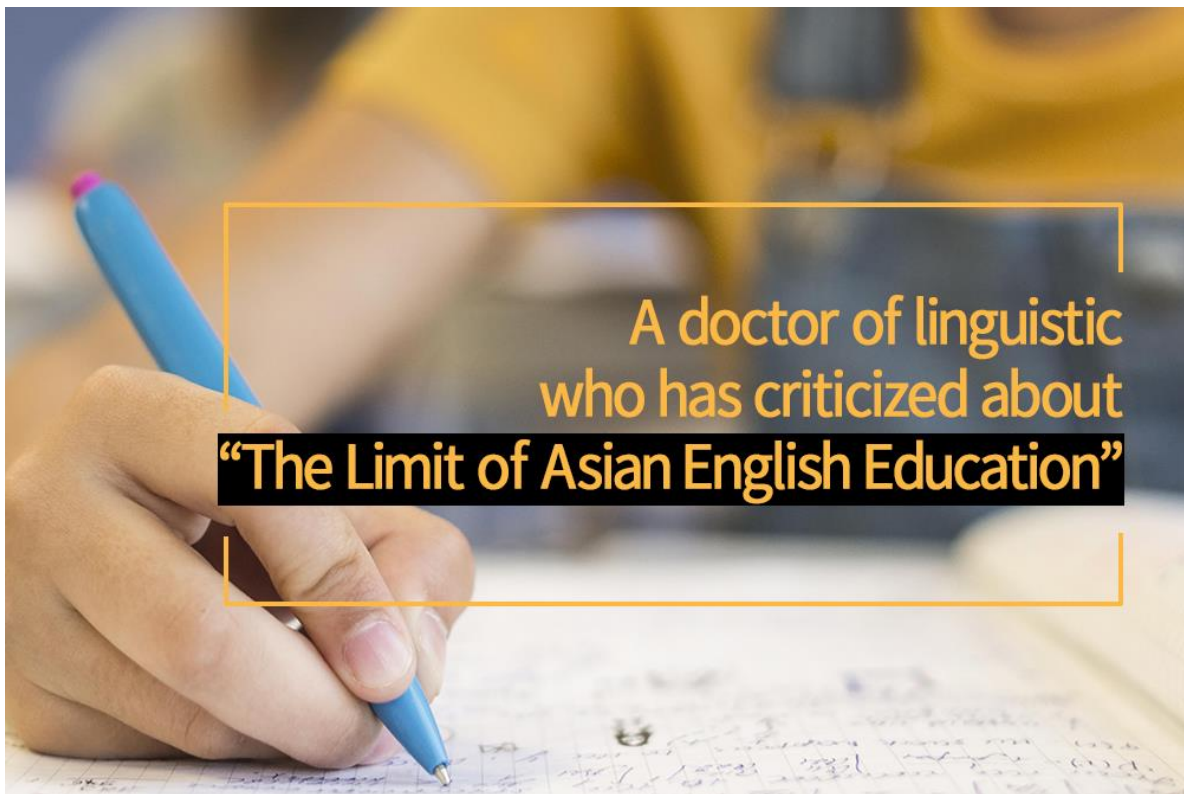
幾つかの学校の親御様は、私どもに次のような質問をしばしばされます。

「アジア諸国の英語教育の何が悪いのですか。」

「アメリカのカリキュラムで英語を学習することは、  
アジア諸国の英語カリキュラムで勉強するより優れているのですか。」

多くの学校の親御様は、なぜアメリカのカリキュラムで英語を学習するのかと  
不思議に思われていることと思います。

今日は、James Forrest教授をお招きし、多くの学校の親御様の質問に答え、  
問題を解決していきたいと思います。



言語学博士であり「**アジアの英語教育の限界**」を指摘した教授

James Forrest教授は、ロンドンで言語学博士を取得し、ソウル国立大学大学院国際英語学科に  
客員教授として着任し教えていらっしゃいます。

Forrest教授は、35年間に渡り、アジアの英語教育の分野で研究と調査を続けていらっしゃいます。

アジアの英語教育を長年にわたり調査研究する中で、

教授はアジアの英語教育の不便さを感じられてきました。

Forrest教授が指摘する、アジアの英語教育の間違っていているところは何でしょうか。

## 1. 投資に対する効率性が低いこと。

教授が指摘する最初の問題は、「投資に対する効率性が低いこと」です。

一般的に、大抵のアジアの子ども達は英語学習を小学校又はそれ以前の年齢から始めます。

しかし、

10年間英語学習を継続し高校生になっても、  
大抵の子ども達は自分の意見を英語で表現する方法すら知りません。

このように、Forrest教授はアジアの英語教育の最初の問題としてこの部分を強く指摘します。

## 2. 教育が理論的内容に焦点を当てていること。

Forrest教授が指摘する第2番目の間違った点は、  
「教育が理論的内容に焦点を当てていること」です。

言語はその国の文化と密接に関係しています。したがって、その国の言語を学ぶためには、  
まずその国の文化的背景や知識を最初に知ることが必要です。

しかし現実には、アジアの英語教育は理論的内容を教えることにのみ重点を置き、  
文化的知識を教えることを考慮にも入れていません。

### 3. ネイティブスピーカーによって話される英語とは異なるフェイク（偽の）英語。結局は「ネイティブではない英語」。

Prof Forrest教授は、アジアの英語教育に進展がないと批判します。アジアの英語教育とネイティブの英語の間には大きな違いがあると指摘します。

ある日、教授がアジアの英語カリキュラムに基づいた教科書を開けて、ショックを受けたと言います。それは、ネイティブスピーカーによって使われもしない語彙がたくさんそこに載っていたからです。さらに驚いたことに、多くの生徒様がそれらの語彙を毎日覚えようとしていたことです。



**Prof Forrest has suggested some solutions to solve this Asian English Education problem.**

Forrest教授はこれらアジアの英語教育の問題を解決するため、  
幾つかの解決策を提案しています。

Forrest教授は、長年にわたりアジアの英語教育の現実を観察しています。  
そしてこれらアジアの英語教育の問題を解決するため、幾つかの解決策を提案しています。

**まず最初に、英語を賢く学ぶためには、幅広く英語を読むアクティビティーが必要となります。**

これまで、枠組みとして文法をまず最初に私たちは勉強してきました。  
そして、これらの学んだ枠組みに付け加えるために語彙を学びました。

しかし、多くの専門家が言うように、このような学習スタイルは今日の英語学習の方法としては  
全く間違っていると言うことができます。

「ボキャブラリー（語彙）中心」の手法が英語学習には適した方法です。  
なぜなら、ボキャブラリーに基づく学習により、生徒様はその使い方、組み合わせ方、  
文を作るために学んだボキャブラリーを合わせる方法を学ぶようになるからです。

**第2に、意識的にネイティブスピーカーの英語にできるだけ多く触れるようにすることは、  
英語学習の1つの良い方法です。**

英語は単なる「言語」だからです。

生徒様は単に英語のリーディングやリスニングが必要なだけでなく、ネイティブスピーカーの会話を繰  
り返すなどして、ネイティブスピーカーのように英語を話そうとすることが必要です。

Forrest教授は次のように言います。

**「これが英語学習の賢い方法です。」**

上記に指摘された全てのポイントと解決策はUSESCHOOLにあることをご存知ですか。



**USESCHOOL** already provides  
the environment where students can  
experience native speakers' English



USESCHOOLは、生徒様がネイティブスピーカーの英語を体験できる環境を既に提供しています。

生徒様は、アメリカの実際の学校で使用されている教科書を使い、アメリカのカリキュラムに従い学習します。そして、生徒様はネイティブ講師によるヴァーチャル授業もUSESCHOOLで受講できます。

生徒様はリスニング力のみならず、英語のスピーキング力も向上させることができます。

そして、ヴァーチャル授業により英語で話すことにも慣れていくことができます。このようにして、生徒様は実際の場面で自信を持って英語で話すことができるようになります。

USESCHOOLで英語学習することは、「本物の英語を学ぶ」ことであり、テスト点数のためではありません。



アジアの英語教育の問題をご理解頂き、なぜ生徒様がUSESCHOOLで英語を勉強する必要があるのかも  
ご理解頂けたと信じております。

あなたのお子様に「本物の英語」を学ぶ機会を作り、詰め込み型教育から離れましょう。

*理論に焦点を当てた英語学習に別れを告げましょう！*

本物の英語を学ぶため、USESCHOOLを使ってアメリカの学校の  
アカデミック・ライフを始めますか。

USESCHOOLはいつもあなたをお待ちしております！

---